

第3講 法的な情報を調べる方法

田中重人 (東北大学文学部教授)

[テーマ] 法学に関する情報の探しかた

1 探す対象 (主として既存の国内法について)

- (1) 法律の条文や立法・改正の経緯 (政令・省令等を含む) → 第1講資料
- (2) 判例
- (3) 法解釈や判例に関する学説

2 判例

- 判例の原本は判決文そのもの → 各裁判所に保管
- 主要な判決を編集したものが公式判例集として刊行されている → 『最高裁判所判例集』など。裁判所 WWW サイトでも検索、表示できる <http://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search1>
- 主要な判決の抜粋を掲載する「判例誌」と呼ばれる雑誌がある → 『判例時報』『判例タイムズ』
- 法学の雑誌・書籍などには、判例の評釈や解説が多数掲載されている

昨年、公式判例集に誤りがたくさんみつかったという報道 (共同通信 2021; NHK 2021) があったが……

3 学説

法律を解釈・適用するにあたってどのような考えかたが使われているか。

- その分野の入門書・概説書で、主要な考えかたとその変遷をおさえておく
- 判例評釈は、過去の判例も踏まえて学説の動向をまとめてあることが多い

法学関連の文章では、判例や学説についての解説と著者個人の意見とが分離していないことが多いので、注意して読むこと。また、書きかたが独特であるため、慣れないと取り付きにくいところがある。法改正などともなって情報がすぐに古くなるので注意すること。

家族法に関しては、たとえば杉浦・野宮・大江 (2007) → 利谷 (2010) → 窪田 (2011) → 大村 (2010) のような順で読むといいかもしれない。

4 文献

2016年民法改正のきっかけとなった最高裁判所判決について説明せよ。つぎの内容を必ずふくめること

- (1) いつ起きたどんなことについて誰が誰に何を要求していたか
- (2) 第1審, 第2審の判決はいつどこで言い渡されたかと、その内容 (簡単でよい)
- (3) 当該最高裁判所判決の結論 (主文) の趣旨

〆切は 11/16 (水) 12:00

※ 11/10 は休講。

文献

NHK (2021) 「最高裁の「判例集」にミス：誤記載 100 か所以上見つかる」『NHK NEWS WEB』2021年10月18日 21時49分 <<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211018/k10013312311000.html>>

共同通信 (2021) 「最高裁判例集に誤り「120カ所」」『47NEWS』2021.10.17 16:22 <<https://www.47news.jp/6929795.html>>

窪田充見 (2011) 『家族法: 民法を学ぶ』有斐閣.

大村敦志 (2010) 『家族法』(第3版) 有斐閣.

杉浦郁子・野宮亜紀・大江千東 (2007) 『パートナーシップ・生活と制度: 結婚、事実婚、同性婚』緑風出版.

棚村政行 (2006) 『結婚の法律学』(第2版) 有斐閣.

利谷信義 (2010) 『家族の法』(第3版) 有斐閣.